

【いじめ、嫌がらせの記載例】

〇〇年〇〇月〇〇日

山梨県労働委員会

会長 〇〇 〇〇 様

申請者 〇〇 〇〇

※個人の場合は、署名又は記名押印

※法人の場合は、法人の名称及び代表者の職・氏名を  
署名又は記名押印

あ っ せ ん 申 請 書

次のとおり個別的労使紛争に係るあっせんで申請します。

労働者	住 所	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号	電話番号	000-000-0000 ※常に連絡のとれる電話番号
	氏 名	〇〇 〇〇	雇用形態	正社員(アルバイト、パート等)
使用者	事業所の所在地	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 ※労働者が働いている(いた)事業所の所在地	事業所名	〇〇株式会社〇〇支店 (支店長〇〇 〇〇) (電話〇〇部〇〇課〇〇係 000-000-0000)
	本社等の所在地	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 ※本社等の所在地	本社等の名称	〇〇株式会社〇〇本社 (電話000-000-0000) ※本社等の名称
	代表者の職・氏名	代表取締役〇〇 〇〇 ※社長など代表者の職・氏名	事業の種類	サービス業 ※業種
あっせん事項		いじめがなくなるように職場環境の改善をして欲しい。 いじめによって生じた精神的苦痛に対して〇万円の慰謝料の支払を求める。		
当事者の主張	労働者	営業成績が上がっていない事は事実だが、自分なりに精いっぱい努力していた。職場では、いじめがまかり通り、精神的に限界状態にある。		
	使用者	営業成績が上がらないのは、営業努力が足りないからである。職場の同僚は無視しているのではなく、本人に協調性がないだけである。		
申請に至るまでの経過		〇年〇月〇日 営業職として採用された。 〇年〇月〇日 朝礼の営業成績発表の場で、上司から「おまえは、チームワークを乱すことばかりして、全然契約も取ってこないじゃないか・・・こんな奴とはもう口も利く必要はないぞ」などと強い口調で罵倒された。 それ以来、上司からは仕事を与えられず、職場の同僚からも無視されるようになった。 同年〇月〇日に人事課長に対し、いじめに対する改善を申入れたが取り合ってくれなかった。慰謝料の請求も拒否された。		
参考事項		同年〇月〇日、山梨県中小企業労働相談所の相談を受けた。 労働契約書(有・無) 就業規則(有・無) 労働組合(有・無) 就業開始日 〇〇年〇〇月〇〇日(勤続年数〇年) 対応者 〇〇本社 人事課長 〇〇 〇〇		